



IBJ* 防除情報 第82号

(*Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)



水田難防除雑草に有効な当社の薬剤

★対象草種別に、登録取得薬剤の製品名を掲載しています。

各水田難防除雑草に対する使用時期は最大葉齢を記載しております(移植水稻)。使用時期(雑草葉齢も含む)、適用土壌、適用地帯、使用方法等詳細につきましては、製品ラベル、技術関連資料、ホームページ等に記載の登録使用基準に従い、御使用ください。

	使用時期(移植水稻)					
	バエ	オモダカ	クログワイ	コウキヤガラ	ホタルイ	エゾノサヤヌカグサ
フルパワーMX1キロ粒剤	3.5 葉期まで	発生始期まで	草丈10cmまで	草丈10cmまで	3 葉期まで	2 葉期まで
フルパワーMXジャンボ	3.5 葉期まで	発生始期まで	草丈10cmまで	草丈10cmまで	4 葉期まで	2 葉期まで
トビキリジャンボ	2.5 葉期まで	—	—	発生始期まで	2 葉期まで	2 葉期まで
フルチャー ジジャンボ *1	4 葉期まで	矢じり葉抽出前まで	草丈10cmまで	発生始期まで	—	—
ナイスミドル 1 キロ粒剤 *2	4 葉期まで	矢じり葉抽出前まで	草丈10cmまで	発生始期まで	4 葉期まで	2 葉期まで
フルイニングジャンボ *2	4 葉期まで	矢じり葉抽出前まで	草丈10cmまで	発生始期まで	4 葉期まで	—
スケダチエース 1 キロ粒剤 *3	5 葉期まで	—	草丈15cmまで	草丈15cmまで	—	—
グラスジン Mナトリウム液剤	—	—	増殖盛期まで	草丈40~60cm程度	発生揃期~4 葉期まで	—
グラスジン Mナトリウム粒剤	—	—	—	—	5 葉期まで	—

注意

- 1: フルチャー ジジャンボ剤は、SU抵抗性一年生広葉雑草に対する効果を有しますが、SU抵抗性多年生 雑草には効果が期待できません。
- 2: ホタルイへの効果はSU剤感受性個体に対する効果(葉齢)となります。
- 3: スケダチエース 1 キロ粒剤は、SU抵抗性雑草に対しては効果が期待できません。



水田雑草

今回の I B J 防除情報は、水田雑草を特集致します。

ビエ（イネ科）

ビエはイネと異なり不完全葉はなく、葉鞘の次に葉身を備えた本葉が抽出、展開する。

本葉の1枚目を第1葉、2枚目を第2葉と呼び、ビエの葉期は、既に伸長、展開を完了した主茎の本葉の枚数に、伸長中の本葉を加えて表示する。ビエ類にはタイヌビエ、イヌビエ、ヒメイヌビエ等がある。

ビエは水田で最も問題となる雑草です

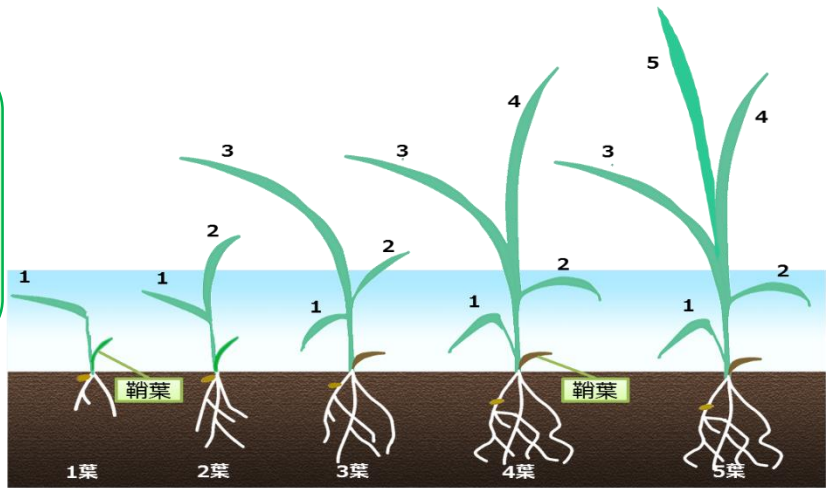
違い	稲	ヒエ
茎	扁平	扁平
葉	葉舌あり	葉舌なし
小穂	楕円型 黄緑色	卵型 紫褐色 (多くは稲より大きくなる)



ビエ葉齢の数え方

水稻と異なり、鞘葉の次にすぐ本葉が抽出します。(不完全葉なし)

葉期は本葉より数え、伸長中の葉は伸長が完了した時点の長さ(予測)を1として小数で表します。



ウリカワ（オモダカ科）

多年生草本。土中に長い根茎をだして次々と子株を形成する。池のふちや水田に生える。多年生有害雑草の一つだったが、ピラゾール系除草剤の普及により急激に減少している。葉がむいたマクワウリの皮に似ているためウリカワという。

Point ・塊茎形成前の防除が重要

葉は線形またはへら形で、長さ8～15cm、幅は5～8mm。先端は鈍くとがる。両面無毛。葉身の基部には横隔膜による横線が明らかにある。夏～秋に株基部から出る地下茎の先に塊茎を作る。



クログワイ（カヤツリグサ科）

代表的
難防除雑草

塊茎で繁殖し、池や沼、溝などに群生するが、最近各地の水田にはびこり強害草として問題になっている。



Point

- ・防除では発生密度を減らすことが重要
- ・完全防除には除草剤の連年施用が必要

塊茎より発生しはじめ、細い針金状の茎が発生し、続いて中空の太い茎に変わる。発生深度は深く、また、発生期間も長い。太い茎が伸びはじめると地下茎を伸ばしその先に新しい株ができて増える。

茎は分けつして株になり直立する。高さは40～70cm。

秋に茎の先に細長い円柱形の淡緑褐色をした小穂をつけ、地下茎の先に塊茎をつくる。



クログワイ

よく似た水田雑草 ホタルイとクログワイ 上手な見分け方

ホタルイ

花から上に縦筋がある

花穂は葉の途中にまとまってつく。

葉の先はとがっているので、上から触るとチクチクする。

中には節がない。
※花のつくあたりに一箇所だけ硬い所がある。

初期は葉がそり返って広がっている。

鞘葉

根はひげ根。種で増える。

中には節がある。

葉をつぶすと弾ける音がします！

塊茎

根茎から増える。根の先に黒い塊がついている。

クログワイ

穂は葉の先端につくが目立たない。

葉の先は丸みをおびている。

コウキヤガラ（カヤツリグサ科）

種子でも繁殖するが、水田では越冬した塊茎から発生する株が特に問題になっている。干拓後10～40年くらいの、比較的新しい干拓水田に多く発生する。



Point

- ・完全防除には除草剤の連年施用が必要

塊茎からの萌芽時期は4～5月からで、本葉3～4枚のころから地下茎の伸長が始まり、6月以降に次々と子株をつくりながら、子株の基部や地下茎先端の肥大により塊茎を多数形成する。発生時期が早く（入水後すぐ）、発生期間も長く短時間で増殖する。

茎は三角形で直立、高さは20～100cm。出穂開花は7～10月で1株に200粒程度の種子を作る。



コウキヤガラ



弊社製品のご紹介

中・後期水稻除草剤 「スケダチエース1キロ粒剤」

今月号では、中・後期水稻除草剤「スケダチエース1キロ粒剤」について御紹介致します。

農林水産省登録 第 23615 号



はフルセトスルフロンを有効成分とする、1成分のスルホニルウレア (SU)系の水稻用中・後期除草剤です。高葉齢のノビエに対して高い効果をもち、一発処理剤の取りこぼしや雑草の後発生対策として臨機防除に適した水稻除草剤です。



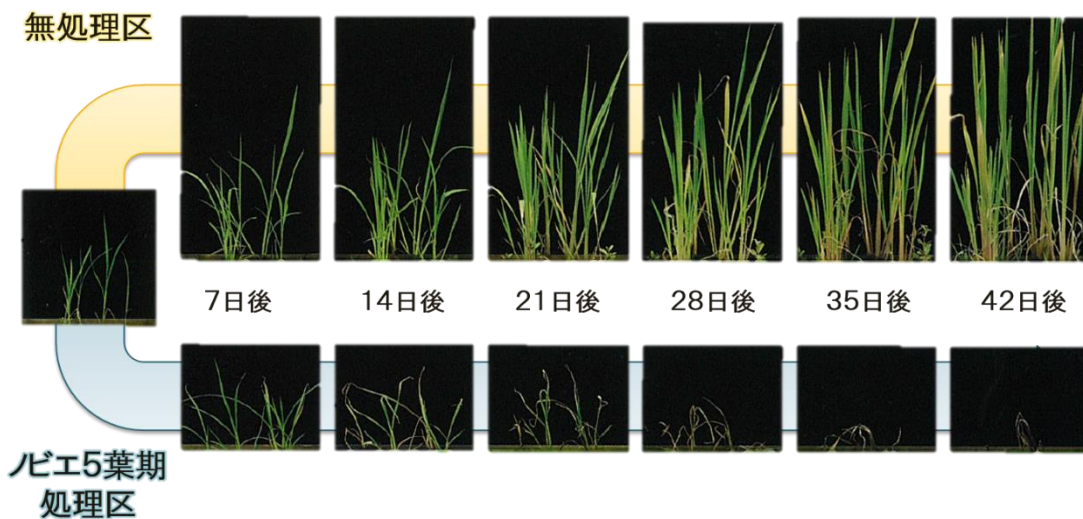
～特徴～

- ① 高葉令ノビエ(5葉期)にすぐれた効果を発揮する **ノビエ剤**
- ② ゆとりの散布適期 (移植14日後～ノビエ5葉期)
- ③ 環境への負荷が小さい

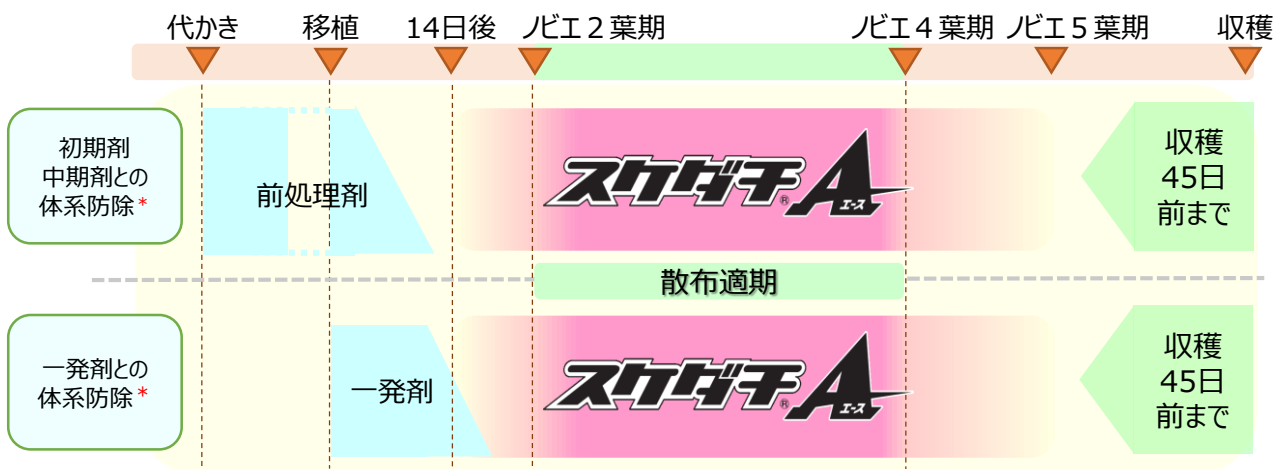
登録内容は、弊社ホームページ製品情報をご確認ください

●効果発現事例 (ノビエ5葉期) 社内試験 石原産業 (株)中央研究所

ノビエ5葉期に対する効果⇒新葉の展開を強く抑制し、3～4週間かけてノビエ全体を枯殺します。
(スケダチエース1キロ粒剤 1kg/10a処理)



上手な使い方 (移植水稻)



✓ より確実な除草効果を出すために、散布適期は移植後14日からノビエ4葉期をお勧めします。

石原の農薬登録情報



- 2018年3月27日～5月8日までの間に登録された弊社の新農薬（適用拡大を含む）は、次の通りです。（下線部が適用拡大になりました。）

3月28日 適用拡大 テルスター水和剤

<適用病害虫の追加>

- ・作物名「ホップ」に適用病害虫名「アサトビハムシ」を追加する。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピフェントリンを含む 農薬の総使用回数
ホップ	アズキノメイガ ハダニ類 <u>アサトビハムシ</u>	1,000倍	200～700L	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内

3月30日 適用拡大 アクセルフロアブル

<作物名の追加>

- ・作物名「うめ」「とうもろこし」「アスパラガス」「ごぼう」「トマト、ミニトマト」「ピーマン」「なす」「にんじん」「ねぎ」「ほうれんそう」を追加する。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタフルミゾンを含む 農薬の総使用回数
<u>うめ</u>	ケムシ類	1,000倍	200～700L	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	ケシキスイ類						
<u>とうもろこし</u>	アワノメイガ		100～300L				
<u>アスパラガス</u>	ハスモンヨトウ	100～800L					
<u>ごぼう</u>		1,000～ 2,000倍	100～300L				
<u>トマト</u> <u>ミニトマト</u>	オオタバコガ ハスモンヨトウ						
<u>ピーマン</u>	オオタバコガ						
<u>なす</u>	オオタバコガ ニジユウヤホシテントウ ハスモンヨトウ						
<u>にんじん</u>	ハスモンヨトウ ヒョウタンゾウムシ類	1,000倍					
<u>ねぎ</u>	シロイチモジヨトウ			2回以内	2回以内		
<u>ほうれんそう</u>	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ	1,000～ 2,000倍			3回以内	3回以内	

4月11日 適用拡大
ケンジャフロアブル

<作物名の変更、追加>

・作物名「豆类（種実、ただし、らっかせいを除く）」を「豆类（種実、ただし、いんげんまめ、らっかせいを除く）」に変更し、作物名「いんげんまめ（菌核病、灰色かび病、炭疽病）」を追加する。

<適用病害虫の追加>

- ・作物名「ぶどう」に、適用病害虫名「褐斑病」および「うどんこ病」を追加する。
- ・作物名「きゅうり」に、適用病害虫名「褐斑病」および「うどんこ病」を追加する。
- ・作物名「レタス・非結球レタス」に、適用病害虫名「灰色かび病」を追加する。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソフェタミドを含む 農薬の総使用回数
ぶどう	黒とう病 灰色かび病 褐斑病 うどんこ病	1,500倍	200～700L	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
豆类（種実、ただし、 いんげんまめ、 らっかせいを除く）	菌核病 灰色かび病		100～300L	収穫14日前まで	2回以内		2回以内
いんげんまめ	炭疽病	4回以内					
きゅうり	菌核病 灰色かび病 褐斑病 うどんこ病	1,000～ 1,500倍 1,500倍	収穫前日まで	4回以内	4回以内		
レタス 非結球レタス	菌核病 灰色かび病	1,500倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内		

弊社では、圃場の土壌を御送付頂き、その土壌中のセンチュウ量を測定し、防除計画の御参考にして頂く無料サービスを継続実施しております。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2
TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>



センチュウ検定
無料キャンペーン
実施中